

事業所における自己評価結果（公表）

別紙 3

公表：平成 31 年 3 月 27 日

事業所名 放課後等デイサービス という

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえ た改善内容又は改善目標 |
|---------------------|---|--|----|-----|---|---|
| 環境 ・ 体制 整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 学習室と指導訓練室を区分して運営している。法令に遵守している。 | 活動のための道具の配置や置き場所に配慮する。 |
| | ② | 職員の配置数は適切である | ○ | | 新規事業所のため人員は最低限であるが、利用者の人数に応じ、手厚くなるようにシフトを組んでいる。 | 規定を満たしているが今後利用人数が増えた場合、増員が必要である。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 極力段差をなくす配慮をし、角にはカバーを付けるなど危険防止をしている。個々に合わせた可視化を行い、朝夕の情報伝達を大切にしている。 | 個々の状態に合わせた可視化を大切に、事故防止に努めていく。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 整理整頓・清掃を重視し、消毒を忘れないようにしている。常時加湿空気清浄機を使用。活動するスペースは確保している。 | 生活空間の清潔保持の意識を各自持つように心がけていく。 |
| 業務 改 善 | ⑤ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 定期的または必要に応じ、会議を開催し、全員が参加している。 | 事業を展開するうえで職員の共通理解を図るため全員参画を心がけている。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 新規事業所のため、今回から保護者評価がでてくるので業務改善につなげていきたいと思う。 | 評価を実施し、その結果を受けとめ業務改善に活かしていきたい。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | 保護者や職員全員が評価を実施し、結果をまとめ、ホームページにおいて公表できるようにした。 | 2018年6月に開設したため公表の実績はない。ホームページに2019年3月に公開する。 |

| | | | | | |
|----------|---|---|---|---|-----------------------------------|
| 適切な支援の提供 | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | 近隣の住人に第三者委員に就任してもらい協力体制はできている。 | 良い関係性を保っていきたい。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | 職場内研修を定期的実施している。 外部研修にも積極的に参加できる体制がある。 | 定期的、また必要に応じた研修の実施を今後も計画的に実施していく。 |
| | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | 保護者と連携を密にし、必要に応じて話し合い課題の検討をしている。 職員全員が会議に参加し、より良い支援計画になるようにしている。 | 現状に合わせて見直しをし、保護者や利用者のニーズに応えていきたい。 |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | 標準化されたアセスメントツールを使用している。保護者から任意提出された情報や医療機関での発達検査も参考にしている。 | 標準化されたアセスメントツールを活用し適応行動の状況を図りたい。 |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | ガイドラインに示されている支援に従い、児童の状態に合わせた支援内容を設定しようと努力している。 | 子供の発達支援に必要な支援計画になるように努力していきたい。 |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | 職員全員が支援計画を理解し、日々の支援に活かしている。 | 今後も支援内容を話し合い、整合性のある支援をしていく。 |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | 担当者はいないが、会議においてチームで立案している。 | 支援員を中心に検討し、総意により決定をしていきたい。 |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | 児童の成長や日々の状態に合わせて柔軟性をもち、活動は運動性を持つよう工夫している。 | 日々の現れを見落とさないように観察と記録を大切にしたい。 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|--|
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 学校のある日は主に個別活動を中心とし、休日は個別活動と集団活動を組み合わせている。 | できる限り個人の意思決定を尊重していきたいと考えている。 |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 朝の確認、夕の反省と目標確認を実施し、役割分担を明確にしている。 | 今後は教材研究に力を入れていきたい。 |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 活動の振り返りを必ず行い、情報を共有し、次回利用に活かすようにしている。 | 気づき等は個別記録に、確実に残すようにしていきたい。 |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 日々個別の記録を取り、支援の検証と改善につなげている。 | 記録の徹底はもとより、申し送りも大切にしていきたい。 |
| | ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | 6ヶ月毎のモニタリングを行い支援計画の見直しをしている。必要に応じて短期見直しもしている。 | 職員の意見を反映して、更により良いものにしていきたい。 |
| 関係機関 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 児童発達支援管理責任者が参画している。 | 他事業所との連携を密に図っていきたいと考えている。 |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | 現在は連携支援をしていないが、必要時には連携支援を行いたいと考えている。 | 関係機関の実施する研修会などに参加していきたい。 |
| 関係機関 | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | | |
| 関係機関 | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | | |
| 関係機関や保護 | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | | 現在対象者はいないが、必要に応じて支援内容等の情報共有や相互理解を図ってきたい。 |

| | | | | | |
|------------|----|--|---|--|--------------------------------|
| 者との連携 | ②⑥ | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 上記に同じ |
| | ②⑦ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | 連絡協議会や研修に参加し、情報の獲得や、知識の習得に努めている。支援センターと連携をし、情報提供や助言を得ている。他事業所との関係を大切にしている。 | 積極的に外部の情報を得ていくようにしていきたい。 |
| | ②⑧ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | ○ | 回数は少ないが、子供ボランティアの参加による外出レクを実施した。 | 交流のできる場や機会を考えていきたい。 |
| | ②⑨ | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 地域の行事などに積極的に参加していくようにしたい。 |
| | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | コミュニケーションを図ることで情報の共有を図っている。 | 送迎時を大切にしていきたい。 |
| | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | ○ | 研修のお知らせや参加の呼びかけ、事業所においては、児童の未発達部分のかかわり方等の助言を行っている。 | 知りえた情報は、的確に、伝えるようにする。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | 書面において説明をしている。 | 理解しやすい言葉の説明を心がける。 |
| | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | 保護者のニーズが主となるが、支援計画を丁寧に説明し同意を得ている。 | 課題の明確化や具体的支援がわかるような説明を心がける。 |
| | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | 保護者の相談は必要に応じ、面談をしている。連絡帳や電話対応においても実施している。 | 職員の誰でも相談が受けられるように教育や訓練をしていきたい。 |

| | | | | | | |
|----|---------|--|---|---|---|--|
| | ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | 行事に参加を呼びかけ、その際に保護者間の連携を行っている。 | 定期的を開催をしていない。保護者が参加しやすいような計画を立案したいと考えている。 |
| | ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 対応は常に行っている。即答できない場合は、協議の上、後日伝えるようにしている。 | 一人の判断を避け、統一の見解を伝える。返事はなるべく早くすることを心がける。 |
| | ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | 会報はないが行事予定表や連絡帳を通して発信している。 | 今後は、機関誌も考えていきたい。 |
| | ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 外部に持ち出さない。書類は鍵のついた管理庫に保管する。守秘義務の徹底をしている。 | 職員教育を継続的に行っていくようにする。 |
| | ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | お便りや口頭において情報を伝達するようにしている。活動時には、可視化を大切にしている。 | 障害の状態に合わせた配慮を心がける。 |
| | ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | 地域の文化祭に参加や地域奉仕活動を実施している。 | 近隣住民の理解を得られるようにする。 |
| | 非常時等の対応 | ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | マニュアルの研修を行い、訓練は定期的に行うなど実際を想定して実施している。（悪天候時も実施） |
| ④⑫ | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 器具の定期点検と火災・地震の訓練を体験的に行うとともに、講話も含めて行っている。 | 個別の対応をし、非常時に備えたい。 |
| ④⑬ | | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | アセスメント時に確認している。投薬依頼書を提出してもらっている。持参した記録紙や薬を確認することを徹底している。看護師に確認してもらっている。 | 服用ミスが起こらないように複数の目で確認をしていくようにする。 |

| | | | | | |
|----|--|---|--|--|--------------------------------|
| ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 現在はないが必要時に対処していく。 | 面談のときにアレルギー表を使って情報を得るようにする。 |
| ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 事故をおこさないためにヒヤリハットを重視し、その都度検証している。 | どんな些細なことも申し出るようにしていきたい。 |
| ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 外部研修に参加し正しい知識を習得し、事業所内で伝達講習を行い、周知するように努めている。 | マニュアルを定期的に見直し、職員研修を継続的に実施していく。 |
| ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | 身体拘束をしなければならぬ利用者はいないが、心を傷つけるような言動に配慮している。スピーチロックには気を付けている。 | 研修等を通して意識統一を図り、支援に活かしていきたい。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 27 日

事業所名 放課後等デイサービス という

保護者等数 3（児童数 4）

回収数 3 割合 100 %

| | | チェック項目 | はい | どちらでもない うえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|---|---|----|-----------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 3 | | | | | 安全に活動できるように配慮しています。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 3 | | | | | 専門性を持った職員を配置しています。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 3 | | | | バリアフリー化されているが、トイレの間口が狭い。玄関の段差は大きい。ステップ台が配置されて負担が少なくなっている。学習室と活動場所がしっかり分かれている。 | 日本家屋であることや借家であることもあり、改造・改築は不可能ですが、車いすでも対応できるスキルを持った職員がいます。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 3 | | | | | 常に清潔の保持に心がけ、活動しやすい空間づくりをしています。 |
| 適切な 支援の 提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 3 | | | | | 保護者面談を大切にしています。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 3 | | | | 職員全員で話し合い、それをもとに児発管が支援計画を立てていると聞いている。計画の見直しも必要に応じて修正や変更をして、現状にあった支援計画になっていて大変ありがたいと思う。 | 今後も保護者の思いを受けとめ利用者のより良い支援になるようにしています。 |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 3 | | | | 毎日の活動は支援計画に沿った内容で支援されていることが利用日の手紙で知ることができる。 | 活動状況が分かるように個別の連絡を密にしています。 |

| | | | | | | | | |
|----------|---|--|---|---|--|---|--|--|
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 3 | | | | | 幅広いプログラムを立案するようにしています。 |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 1 | | 1 | 回数は少ないが外出レク等に子供ボランティアが参加してくれている様子。子供が喜んでいいる。地域の人たちや地域に対して奉仕活動ができているので、とても素晴らしいと思います。 | 今後も積極的に他児童と交流する場を多く取り入れていきたいと考えています。 |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 3 | | | | | 理解しやすい言葉で説明するように心がけています。 |
| | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 3 | | | | | ガイドラインに沿い作成し、理解しやすいように丁寧に説明をしています。 |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 3 | | | | 常に情報を共有しており、子供の様子を合わせた助言がもらえる。支援方法の仕方を教えてもらえる。 | ご家庭の要望に応えられるように努力していきます。 |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 3 | | | | 利用日毎に活動の内容や子供の様子が分かる手紙が配られ、引き渡し時にも職員から様子を聞くことができ、自宅での支援方法を共有することができ助かっている。看護経験のある職員がいるので体調不良時の対応が早い。 | 細やかな伝達を心がけ、情報の共有を図り、課題解決に向けていきたいと思っています。 |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 3 | | | | 必要時には必ず面談ができ、話を聞いてもらえる。対応策も考えてもらえる。とても対応が早くありがたい。 | 声をかけやすい雰囲気づくりを心がけ、適切な助言ができるようにしていきます。 |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 2 | | | 仕事をしているので、なかなか参加が難しいです。 | 全員が参加しやすい工夫をしたいと思っています。 |

| | | | | | | | | |
|---------|---|---|---|--|--|--|---|---|
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 3 | | | | こちらからのお願いや相談に対して、すぐにとりかかってくれるので、とても助かっています。 | できる限り保護者様の要望に応えられるように努力していきます。 |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 3 | | | | | 文書や連絡帳、送迎時を活用しています。コミュニケーションを大切にしています。 |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 3 | | | | 毎日の様子を書いてくれるので子供の状態がよくわかります。 | 毎月の行事やその都度行われる活動は事前に伝言と書面においてお知らせしていくようにしていきます。 |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 3 | | | | | 職員教育をして守秘は徹底しています。 |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 3 | | | | プリントを配布して頂けているので、とてもわかりやすく助かっています。 | 必要な事項は変更の都度、書面においてお知らせします。 |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 3 | | | | | 地震・火災訓練の実施や紙芝居等も活用しています。 |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 3 | | | | とても楽しみにしています。 | 安全で楽しく過ごせる支援を心がけていきます。 |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 3 | | | | いろいろと無理を言うときもあるけど、それに対応して頂けていると思います。 | ご要望に添えるように努めたいと思います。 |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。